

●感受性薬剤一覧

系統	略号	抗菌薬名	ブドウ球菌	腸球菌	レンサ球菌	肺炎球菌	膿内細菌	緑膿菌	非发酵菌	インフルエンザ菌	モラキセラ	グラム陽性桿菌	淋菌	カンピロバクター	嫌気性菌
その他	AZT	アズトレオナム				●	●	●	●	●	○		○	○	
	LCM	リンコマイシン													
	CLDM	クリンダマイシン	●		●	●					○	○	○	○	○
	CL	コリスチン													
	PLB	ポリミキシンB									○		○	○	○
	VCM	パンコマイシン	●	●	●	●						○		○	
	TEIC	ティコフランニ	●	●	●	●									
	FOM	ホスピマイシン	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
	LZD	リネソリド	●	●	●	●									
	MUP	ムビロシン	●												
	ST	スルファメトキサゾール・トリメトブリム	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
	DAP	ダブトマイシン	●	●	●	●									
	MNZ	メトロニダゾール	●	●	●	●									

● MIC

△ 一部の菌種でのみMIC

○ ディスク拡散法で実施（カテゴリー報告）

記載なし クラスディスクの考えに準じて代表薬剤の結果をご報告します（カテゴリー報告）

以上

25-10

2025年4月

# KML INFORMATION

< 検査の一部中止および検査内容の一部変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記のとおり、一部の検査項目において、受託の中止および検査内容の一部変更をさせていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

敬具  
記

## 《検査中止項目》

最終受付日 2025年5月2日（金）

項目コード	項目名	中止薬剤	中止理由	代替項目	検査案内記載頁
5846	抗酸菌薬剤感受性検査（耐性検査）	EVM（エンピオマイシン）	感受性薬剤の販売中止のため	なし	148

※検査受託中止に伴い、現依頼書からEVM（エンピオマイシン）を削除します。  
新依頼書は現依頼書の在庫がなくなり次第、順次切り替えさせていただきます。

## 《検査内容変更項目》

実施日 2025年5月7日（水）受付分より

項目コード	項目名	変更箇所	新	現	変更理由	検査案内記載頁
5092	培養検査 口腔、気道又は呼吸器からの検体	報告菌名	コアグラーーゼ（-） Staphylococcus	S. epidermidis S. hominis S. capitis等のコアグラーーゼ陰性ブドウ球菌	検査内容見直しによる変更 詳細は裏面をご参照ください	146
5093	培養検査 消化器からの検体					
5094	培養検査 泌尿器又は生殖器からの検体					
5095	培養検査 血液又は穿刺液からの検体					
5096	培養検査 その他の部位からの検体					
5116	細菌薬剤感受性検査	判定基準	CLSI M100-34rd Edition	CLSI M100-S22		

〈裏面へ続く〉

**KML** 株式会社 京浜予防医学研究所

〒216-0042 川崎市宮前区南野川3-22-1

TEL 044-777-3254 <https://www.kml-net.co.jp/>

### ●報告菌名の変更

検査内容の見直しに伴い、コアグラーゼ陰性ブドウ球菌の報告菌名を変更します。

新	現
コアグラーゼ（-）Staphylococcus	<i>S. epidermidis</i> <i>S. hominis</i> <i>S. capitis</i> 等のコアグラーゼ陰性ブドウ球菌

※病原性が高いとされている*S. lugdunensis*、*S. intermedius*、*S. pseudointermedius*、*S. schleiferi*、*S. chromogenes*、尿から検出された*S. saprophyticus*、血液や髄液等の非無菌的部位から検出されたコアグラーゼ陰性ブドウ球菌は今まで通り種まで同定してご報告します。

#### ●判定基準の変更

検査内容の見直しに伴い、細菌薬剤感受性検査の判定基準を変更します。

		新		現		
		CLSI M100-34rd Edition		CLSI M100-S22		
		S	I	R	S	I
腸内細菌	PIPC	≤8	16※	≥32	≤16	32-64
	TAZ/PIPC	≤8	16※	≥32	≤16	32-64
	CFPM	≤2	4-8※	≥16	≤8	16
	CPFX	≤0.25	0.5	≥1	≤1	2
	LVFX	≤0.5	1	≥2	≤2	4
	GM	≤2	4	≥8	≤4	8
	TOB	≤2	4	≥8	≤4	8
	AMK	≤4	8	≥16	≤16	32
<i>Salmonella</i> spp.	LVFX	≤0.12	0.25-1	≥2	NA (ナリジクス酸) の判定結果を採用	
	OFLX	≤0.12	0.25-1	≥2		
<i>Shigella</i> spp.	CPFX	≤0.25	0.5	≥1	≤1	2
	LVFX	≤0.5	1	≥2	≤2	4
緑膿菌	PIPC	≤16	32※	≥64	≤16	32-64
	TAZ/PIPC	≤16	32※	≥64	≤16	32-64
	CPFX	≤0.5	1	≥2	≤1	2
	LVFX	≤1	2	≥4	≤2	4
	TOB	≤1	2	≥4	≤4	8
<i>Acinetobacter</i> spp.	IPM	≤2	4	≥8	≤4	8
	MEPM	≤2	4	≥8	≤4	8
	DRPM	≤2	4	≥8	≤4	8
<i>Stenotrophomonas</i> spp.	MINO	≤1	2	≥4	≤4	8
コアグラーゼ (-) <i>Staphylococcus</i>	MPIPC	≤0.5	-	≥1	≤0.25	-
ブドウ球菌	β ラクタム系薬	MPIPC、CFXの結果をもとに判定			-	
<i>E. faecium</i>	DAP		≤4※	≥8	≤4	-
<i>E. faecium</i> 以外の腸球菌	DAP	≤2	4	≥8	≤4	-
インフルエンザ菌	CVA/AMPC	≤2	4	≥8	≤4	-
肺炎球菌	DOXY	≤0.25	0.5	≥1	≤2	4
	MINO	≤0.25	0.5	≥1	≤2	4

※SDD（濃度依存性感性）に該当しますが、「I：中間」としてご報告します。

## ●感受性薬剤一覧

• MIC

△ 一部の菌種でのみMIC

#### ○ ディスク拡散法で実施（カテゴリー報告）

記載なし クラスティスクの考えに準じて代表薬剤の結果をご報告します（カテゴリー報告）